

## 知多南部広域環境センター DBO事業者選定までの事業スケジュール

平成28年5月現在

年 月	平成27年度					平成28年度					平成29年度					平成30年度													
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
業務内容																													
1. ごみ処理施設整備計画等策定及び 施設整備・管理運営事業者選定 アドバイザー業務																													
(1) ごみ処理施設整備計画策定																													
(2) ごみ処理施設への進入路検討																													
(3) 循環型社会形成推進地域計画策定																													
(4) 知多南部地域ごみ処理基本計画 (H18.10策定)の改定業務																													
(5) ごみ処理施設整備・管理運営事業者選定 アドバイザー業務																													
2. 測量、地質調査及び土壌調査																													
3. 環境影響評価調査業務																													
(1) 方法書手続き																													
(2) 現地調査（四季調査）																													
(3) 準備書手続き																													
(4) 評価書手続き																													

平成30年8月  
DBO事業者選定

平成30年5月  
都市計画決定

(1) ごみ処理施設整備計画等策定及び施設整備・管理運営事業者選定  
アドバイザー業務委託について

工 期：平成27年6月13日～平成30年9月28日

契約業者：パシフィックコンサルタンツ(株) 中部支社

<主な業務内容>

- ・ごみ処理施設整備計画策定
- ・ごみ処理施設への進入路の検討
- ・知多南部地域ごみ処理基本計画(H18.10策定)の改訂
- ・循環型社会形成推進地域計画(第三期、H30～H36)策定
- ・ごみ処理施設整備管理運営事業者(DBO事業者)選定アドバイザー業務

(今後の予定)

- ・平成27年6月～平成28年10月 知多南部地域ごみ処理基本計画の改訂
- ・平成28年8月～平成29年1月 見積設計図書の徴収・評価

(2) 環境影響評価調査業務について

工 期：平成26年6月19日～平成30年3月20日

契約業者：玉野総合コンサルタント(株)

<主な業務内容>

- ・配慮書  
(既存資料等を用いて、環境保全のために配慮する事項を検討する。)
- ・方法書  
(施設ができることにより、環境のどの項目をどのような方法で調査・予測・評価をしていくかをまとめる)
- ・現地調査【四季調査】  
(方法書で決定した項目や方法に基づき調査・予測・評価をする)
- ・準備書  
(調査・予測・評価の結果や環境保全対策などをまとめます)
- ・評価書  
(準備書についての意見を検討し評価書としてまとめます)

(今後の予定)

- ・平成28年1月～12月 現地調査(四季調査)
- ・平成29年12月 準備書手続き完了
- ・平成30年3月 評価書完成(環境影響評価調査終了)

### (3) 測量・地質・土壌調査業務委託について

契約年月日：平成 28 年 5 月 18 日

契約金額：11,124 千円（含消費税 824 千円）

工 期：平成 28 年 5 月 19 日～平成 29 年 3 月 10 日

契約業者：川崎地質株式会社 中部支社

#### <主な業務内容>

敷地の現況地盤高の測量及び施設設計の基礎資料となる支持層・土質を把握するため、地質調査業務を実施します。また、環境影響評価配慮書及び方法書で土壌の状態に対する知事意見を受け、現状の土壌の状態を詳細に確認するため調査を実施する。

<環境影響評価とは>

その事業を行うことによって、環境にどのような影響を及ぼすかについて、あらかじめ事業者が調査、予測及び評価を行い、その結果を公表して住民の方々、知事、市町長の意見を聴き、それらの意見を踏まえて環境保全の見地から望ましい事業計画にしていく制度です。

<環境影響評価の手続き>

環境影響評価には、計画段階環境配慮書、方法書、現地調査（四季調査）、準備書、評価書 の手続きがあります。

これらの手続きを終えるには、概ね4年間かかります。

・計画段階環境配慮書

施設の規模、配置等を検討する段階で複数の案について、重大な環境影響を回避、低減させるため、既存資料等を用いて、環境保全のために配慮する必要がある事項を検討し、縦覧します。

・方法書

施設ができることによって、環境のどのような項目について、どのような方法で調査・予測・評価をしていくかの計画などをまとめ、方法書として縦覧します。

・現地調査（四季調査）

方法書によって決定した項目や方法に知事意見などを踏まえ、調査・予測・評価を行います。

・準備書

調査・予測・評価の結果や環境保全対策の検討結果などを準備書としてまとめ、縦覧します。

・評価書

準備書についての意見の内容を検討し、必要に応じて準備書の内容を見直した上で、評価書としてまとめ、縦覧します。